

## まち運営会議（第84回）議事録（概要）

平成30年3月22日 18:30～20:15 自由が丘会館 3F

議長 卯月盛夫

### 議題

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 1. 自由が丘街づくり連絡会について            | 目黒区地区整備課 |
| 2. 自由が丘をテーマとした学生の研究発表会報告      | 街並み形成委員会 |
| 3. 自由が丘駅前西及び北地区周辺まちづくり勉強会について | 目黒区地区整備課 |

### その他

- ・自由が丘地区内のゾーン30の指定地域の訂正
- ・ジェイ・スピリットと大学との連携協定について（東京芸大、東京都市大学）

### （資料）

- ・平成29年度自由が丘街づくり連絡会における活動の確認
- ・自由が丘駅前西及び北地区周辺 第3回 まちづくり勉強会
- ・自由が丘 × 東京芸大 アート&デザイン・プロジェクト シンポジウム開催のお知らせ

●岡田代表 期末のお忙しいところご出席いただきありがとうございます。昨日は雪が降りましたが、いよいよ春も間近です。今日もいくつかの議題がありますが、東京芸大との連携についてお話しします。自由が丘は昭和の初期に文化人たちが住んでまちとして発展してきましたが、あらためて文化芸術の香りがまちにあったら楽しいのではないかとということで東京芸術大学の彫刻科と空間デザインの先生方・学生みなさんに協力いただいてまちの文化に貢献できるようなプロジェクトが、昨年の夏に教授会で承認されました。14の金融機関にスポンサーになっていただき猫の彫刻を各お店に展示してもらうとともに、野村証券の地下などにデザイン科の学生の作品を展示します。この3月17日にはキックオフとして、野村証券の前の12本の車止めボラードに白い縄を巻いて、それぞれその上に12のストリートをイメージしたアートを描いてもらう活動をしました。展示は4月19日までの予定です。この31日には野村証券の地下ホールで、まちとアートについてのトークを北郷教授、清水教授そして自由が丘在住の歌手で画家の八代亜紀さんと私とで行います。

自由が丘のゾーン30（自動車の速度時速30km以下に制限）の地区が、みなさまの要望もあって正式に決まりましたので、資料を回覧します。今日もよろしく願いいたします。

●議長 それでは第84回のまち運営会議を始めます。

### 自由が丘街づくり連絡会

●課長 再開発準備組合設立やその準備、地区計画のある地区の現状と課題など各地域（ゾーン）のまちづくりの情報の共有をはかり、ジェイ・スピリット（JS）のグランドデザイン作成の基礎的部分を行政として手伝えるために、目黒区が主催する自由が丘街づくり連絡会について、資料にそっ

て説明します。(以下、その概略)

・平成 27 年度にスタートし 15 回開催した。ゾーン (㊸サンセットエリア、㊹北地区 (1-29 街区)、㊺西地区 (駅広の)、㊻南口地区、㊼東地区、㊽旭会の一部、㊾自由が丘デパート・ひかり街) の代表を対象に各ゾーンのまちづくりの現在の動向・課題及びゾーン間の課題の継続的な確認と共有化

- ・コミュニティマート構想を振り返り、将来のまちづくりの在り方・取組みの必要性の共有化
- ・ゾーンの課題 (細街路の活用、テナントマネジメント、景観・街並み、建物の老朽化、防災等)
- ・ゾーン間の課題 (まち全体として連携していく部分の整理)

㊸と㊹・・・㊹と㊸全体の景観面や防災面に関する連携 / 都市計画道路補助 127 号線と補助 46 号線整備への対応に関する連携

㊸と㊾・・・全体の景観面や防災面に関する連携

㊹と㊺・・・駅前としての景観面、防災面に関する連携 / 補助 127 号線への対応に関する連携

㊹と㊼・・・まちづくりにおける機能面・空間面に関する連携

㊺と㊻・・・大井町線の連続立体化の議論に関する連携

㊻と㊼・・・大井町線の連続立体化の議論に関する連携

㊼と㊽・・・補助 46 号線整備への対応に関する連携 / 東横線の連続立体化の議論に関する連携

㊼と㊾・・・補助 46 号線整備への対応及び東横線の連続立体化の議論に関する連携

㊽と㊾・・・東横線の連続立体化の議論に関する連携

●議長 連絡会については初めて聞いた。構成メンバーはゾーンの代表のほかには誰か。

●区 JS、商店街振興組合、住民会議からの代表である。JS がどういう活動をしていったらよいか、都市再生推進法人に指定した区としては一緒に考えていきたい。

●代表 みなさんがそれぞれどんな情報を持ち、それらを分析しておくことが大事だと思っている。

●議長 データは公開できるのか。

●課長 コンサルのつくる報告書は区にはもちろん、区がチェックした後に JS にも提供可能。

●会長 報告書は各ゾーンが個性を活かして発展できるように、その基礎となるものと思う。

●私の所属するゾーンで、誰が参加しているか知らない。まちづくり計画には、多くのまちの人の意見が反映されるとよい。

●議長 報告書が JS にきて、内容がまちに周知されるように、まち運営会議とも連携していけるとよい。次の議題に入ります。

### 学生の研究発表会報告

●主任 2 月 19 日に学生による自由が丘のまちづくりへの提案発表があった。学生のほかに地元や東急電鉄などから 40 人の参加があった。まず東京都市大学の都市生活学部の 3 年生 13 人が 3 グループに分かれて自由が丘を調査し、次の提案をした。

1) 駅舎の 1 階部分を抜いて、東西・南北とアクセスしやすい、車・バスの動線を変えて歩行者にや

さしいまちに。

- 2)各街区に中庭をつくり、127号線を並木のある道にして、歩行者・来街者が楽しめ、くつろぎを得られるまちに。
- 3)昼間に女性やクリエイティブな就労者が働きやすく、未来のライフスタイルを踏まえたまちに。会社等と契約して、可能な店がそれぞれの広さの10%程度をその人たちの仕事場になるように「商業×オフィス」としてのブランド化。自由が丘駅にオフィスと街へのエントランス機能をもたせる。自由が丘デパートをリノベーションによるホテルへ。
- 4)女性がリスタートできるまち / 個別建物の共同化（風格や統一感のあるように）。駅前の広場の充実、都計道の廃止等交通計画の見直し（鉄道の立体化は進める）で安心安全なまちを目指す。
- 5)リベラルアーツ・タウン / 広場やホール・庭を充実し、まちの魅力を高める。住民の資産（庭や芸術品）を近隣住民や来街者にシェアする。それを財団で運営する。
- 6)クオリティ・ハブ / 住宅地と商業地の中間領域に、滲み出しを適正化して自由が丘特有の都市空間を形成できるように用途地域の見直し。世代間同居等高齢者住宅・空き家の活用。地元の有名人のおしゃべりなど大人のクラブ活動の推進。
- 7)自由回廊 / 自由が丘らしい「職・住・学の一体型」の都市構造へ。働く人を誘引する公園、屋上緑化、屋上デッキで建物を連結、イベントスペース等を考える。

それぞれ学生は分りやすく発表し、熱心な質疑応答があった。学生の研究では、テーマをまちから投げかけることもあってよいと思う。

●学生への対応、ありがとうございました。励みになります。都市大学の学生たちは4月から卒業研究に入ります。私の研究室では引き続き自由が丘をテーマにします。

●議長 自由が丘は研究のフィールドにしたい場所だ。しかし、その成果を実現するのは、まちに変わろうとする力もあるが、いろいろな要素があるので難しい面もある。次の議題に入ります。

### 駅前西及び北周辺まちづくり勉強会

●課長 第3回のまちづくり勉強会について資料をもとに説明いたします。（以下はその概略）

今回（3/20）の出席者は21名、前は26名でした。まず第2回を振り返った。その時の意見内容を整理すると、①まちの魅力（小規模で個性的なお店が集積している街並みがよい。車の入ることのないような道は、雰囲気もよく歩いて楽しい。他）②まちの問題点（車が多くバスも入ってくる。タクシーの通り抜けも多い。生活用品を取り扱う店舗が減っている。他）③まちの方向性（老若男女が散策や買い物を楽しめるまち。バリアフリーに配慮したまち。みどりを増やし、景観をよくする。他）④アンケート分析 - 休日によく行く街 居住エリアごとの自由が丘駅周辺の利用割合では、1位自由が丘1km圏、2位自由が丘-中目黒方面3km圏、3位自由が丘-二子玉川方面3km圏、4位自由が丘-武蔵小杉方面3km圏、・・・、14位二子玉川方面(4-5 km圏)である。

1) 本日の勉強会の目的 / 今後のまちづくり検討の進め方・組織体制を提案する。 / 「地元がま

ちづくりとして取り組む内容」と「区が都市計画として実施する内容」を整理する。/ 区が実施する「補助 127 号線を中心とした道路等整備」の考え方について、再整理し提案する。

2) まちづくりの基本理念 「自由が丘らしさの継承と人にやさしいまちづくり」

3) 西・北地区の位置づけ 「自由が丘の交通結節点に面する自由が丘の顔となる地区」

4) 西・北地区のまちづくりの方向性

- ・地元主導の取組みとしては、沿道まちづくり（魅力ある小道の形成、老朽建物の更新、店舗等の誘致、緑・景観形成-シンボルとなる広場、ストリートの景観形成、等）

- ・行政主導の取組みとしては基盤整備であり、あわせて地元支援。駅前広場の整備、補助 127 号線（優先整備路線）の整備をして、補助 46 号線の整備、鉄道連立事業の整備機運を高める。行政の持てる手段を駆使して、道路整備のために生活再建を余儀なくされる方を含めて、地元が望むまちづくりの実現に向け公益性を適切に判断し、積極的に支援する。

5) 地元支援の例 ①沿道一体型の整備手法と進め方の説明（イメージ）②歩行者優先ゾーンの柔軟な道路の作り方を検討 ③小道に面した建築の制限と緩和ルール等を検討（参考）として、道路と敷地の関係、街並み誘導型地区計画による規制緩和、共同化による土地の有効利用の説明

6) 補助 127 号線を中心とした交通環境の考え方（案） ①西・北地区の交通環境改善の必要性（まちの問題点の解決とまちの魅力の推進 ②基本的な考え方（歩行者の回遊ネットワークを構築）③補助 127 号線の歩行者優先ゾーン道路のイメージ ④地区内の 6m 道路の歩行者優先ゾーン道路のイメージ（沿道権利者が協同して 1 階部分の壁面後退を実現等）⑤地区内の小道の歩行者優先ゾーン道路のイメージ（景観デザイン、緑化、余裕があれば休憩等の小スペースをつくる）

#### 【補助 127 号線の役割】

- ・ゆとりのある歩道をつくり、歩行者の安全を確保するとともに、買い物や散歩などを楽しめるようにする。
- ・自由が丘駅と周辺の街へのアクセスを改善し、街の利用者を増やす。
- ・公共交通（バス、タクシー）を集約し、他の道路を歩きやすいようにする。
- ・街のシンボルストリートとして、魅力的な景観やイベント空間をつくる。
- ・災害時の安全な避難空間、避難路、緊急活動等の空間を確保する。

7) 地元主体のまちづくりを進めるために、来年度は、全体会のほか、テーマやエリアごとに「分科会」を設けて、具体的な計画についてみなさんと一緒に検討したい。

平成 30 年度の進め方、組織体制（案）は、これまでの勉強会を検討会とし、より具体的なまちづくりの方向性について検討する。

自由が丘駅前西及び北地区周辺まちづくり検討会（全体会）

- ・全体の地区街づくり計画、地区街づくりルールの検討
- ・他地区との連携、調整事項の検討 等

駅前広場・補 127 号線沿道の分科会

- ・権利者の意向把握や、生活再建等の検討

・具体的な整備計画等の検討

〇〇〇分科会（テーマごと、街区ごとに複数の分科会が考えられる。）

説明は以上ですが、まち全体のビジョンについては、この検討会だけで決めていくものではない。道路のしつらえなどについても、まち運営会議などでいろいろな意見をいただき決めていきたい。

●議長 ありがとうございます。詳細の内容に入ってきた感じがする。127号線の15mの幅員構成で、歩道を4.5mずつ両側に設けるとするのは、目黒区としてこれもあり得ると考えているのか。これは英断である。

●課長 荷捌きの集配を考えると、部分的な停車帯も必要になってくるので、全部がこうなるかは不明である。

●元町の例もある。

●議長 街路樹や自転車を考慮したフレキシブルゾーンの使い道は、地元のみinnで考えていこうという提案だと思う。

●行政主導といっても、地元と話し合って決めていってほしい。また、幅員15mが前提になっているが、これでいいのかどうかも検討したい。127号線と西地区の整備など、当事者として過酷なことを決めることになるので不安だ。まち運営会議でも議論してもらいたい。私としてはまちとしての意向をもって動きたい。

●議長 以前にも話したが、公共空間については勉強会・検討会の進展の様子をみながら、まち運営会議で議論したらよいと考えている。駅前広場もinnで議論しながらやってきた経験がある。

●勉強会に参加しているが、権利者の参加が少ない。数も減ってきている。その原因に「どう考えていいかわからない」ということがあるのではないかと思う。

●課長 これから増やしていくよう努力したい。

●議長 一人でも多くの人に参加してもらえるよう区に努力してもらいたい。

●都市計画道路は誰が決めたものなのか。

●課長 戦後間もなく、今の国土交通省が決めた。

●幅員等について、変更できる可能性はあるのか。

●課長 可能性はなくはない。補助127号線も前は環状8号線まで抜けていたが、昭和43年に駅前で止まった。それに合わせて新しく補助208号線が計画された。

●現時点では変わらないと認識した方がよいのか。

●廃止された路線もある。

●議長 人口減少や税金の投入の問題もあり、国は2000年頃都道府県に、その道路が本当に必要かどうか見直しを求めた。現時点では、都と目黒区は127号線を必要な道路として指定していることは事実である。

●代表 まち運営会議は全国でも注目されている。まちの問題がここで議論されることはよいことだと思う。地権者の会議も必要で、そこでも議論したらよい。

その他

- 議長 東京芸大の猫の彫刻の展示はこの後どうなるのか。
- 代表 展示期間が終わると、大学に持ち帰ることになっている。芸大と自由が丘のコラボは2年あるので、その中で考えていきたい。連携の話があって芸大の方々が来た時に、自由が丘の先入観なしに、まちを歩いて感じたことを表現した成果物を出してとお願いした。次は違うものになることもあり得る。今回は金融機関にお願いしスポンサーになっていただいたが、本来ライバルであるのに「まちに貢献することが大事」だと、一緒に協力いただいた。ありがたく思っている。
- 自由が丘にはまちの猫はいなくなった。猫の彫刻はほのぼのと感じられる。期間が終わっても何らかの形で活用してもらいたい。
- 代表 欲しいという方もおられるようだ。
- 議長 それでは84回のまち運営会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

(参考資料 / 担当理事)

### 「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業計画）」の公表について

平成 28 年 3 月 30 日

東京都/特別区/26 市/2 町

東京都と特別区及び 26 市 2 町は、都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、おおむね 10 年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を過去 3 回にわたり策定し、事業の推進に努めてきました。

「区部における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」及び「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」は平成 27 年度までの計画としており、より効率的な道路整備を推進していくため、東京全体の第四次事業化計画を策定することとし、検討を進めてきました。

これまでの検討を踏まえ、このたび「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を取りまとめましたので、お知らせします。今後、東京都と特別区及び 26 市 2 町は、この整備方針に基づき、都市計画道路の整備を着実に進め、計画的かつ効率的に道路ネットワークを形成し、首都東京を魅力と活力あふれる都市へと再生してまいります。

#### 〈区施行〉

NO.	路線名	区間	所在区	延長(m)	主な選定理由
19	補助127号線	自由が丘駅～放射3	目黒	790	拠点・まち

(注)

放射3：目黒通り

拠点：拠点形成と拠点間連携・・・交通結節機能・地域拠点アクセス 等

まち：地域のまちづくりへの貢献・・・まちづくりとの連携・地域のにぎわい軸 等

